

皆様

秋色の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
小規模ではありますが、以下の日程で講演会を開催いたします。
皆さまのご参加をお待ちしております。

「日本と中東のメディア文化外交の可能性を探る——21世紀のソフト・パワー構築に向けて」

日時：2014年9月27日(土) 11:00～13:00

場所：八重洲倶楽部第7会議室(<http://www.yaechika.com/club.html>)

住所：〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-1 地下1階・地下2階

主催：「アラブ世界を対象としたメディア文化政策に関する国際比較研究」研究会
(2014年度サントリー文化財団「人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」)

※ 席数に限りがあるため、参加を希望される方は、事前に以下のメールアドレスへとお名前・ご所属をご記入のうえご連絡下さい(chibayushi@gmail.com)。なお定員に達し次第、募集を締め切らせて頂きます。

趣旨

このたび、エジプトの主要日刊紙アル・アフラームの元副編集長で現論説主幹のカマル・ガーバッラ氏と、エリコ通信社の代表である新谷恵司氏をお招きし、近年の各国が文化外交を活発化させ、ソフト・パワーの構築をはかるなかで、日本の中東におけるソフト・パワー構築や求められる役割、また映像メディアを通じた文化交流の可能性と現状についてお話をして頂きたいと思っております。エジプトと日本の報道現場の第一線で活躍されるお二人に直接お話を伺える貴重な機会となります。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

プログラム

10:30 開室

11:00 - 11:10 趣旨説明(千葉悠志、日本学術振興会特別研究員 PD)

11:10 - 12:00 カマル・ガーバッラ氏(アル・アフラーム新聞・元副編集長、論説主幹)
「中東・エジプトにおける日本の役割とその重要性」(仮題、英語)

12:00 - 12:50 新谷恵司氏(エリコ通信社・代表)
「映像メディアを通じた文化交流の可能性と現状」(日本語)

12:50 - 13:00 閉会の辞

その他、ご不明な点につきましては、千葉(chibayushi@gmail.com)までお問い合わせ頂ければ幸いです。

以上